



コスモスだより

独立行政法人 地域医療機能推進機構 天草中央総合病院

令和7年9月発行
編集:天草中央総合病院広報委員会

地球温暖化への新たな対策

天草中央総合病院 院長 芳賀 克夫

本当に毎日暑い日が続きます。8月11日には経験したことのない大雨が降りました。平年で1か月に降る雨量がわずか3時間で降ったと聞きます。私はその翌日熊本市から天草に帰って来ました。宇土半島の北側の57号線は通行止めだったので、松橋インターから宇土半島の南側の国道を通って帰りましたが、海面がとても高かったのに驚きました。満潮に加え、大雨の水が海に大量に流れ込んだんだなあと思感しました。本当に地球温暖化は怖いと思った次第です。

地球温暖化は二酸化炭素などの温室効果ガスが地球を包み込み、地球の熱が放出されなくなることが原因と言われています。人類が生み出す温室効果ガスを抑え込むことはなかなか難しいでしょう。しかし、最近新しい対策として海草に注目が集まっています。海の中にあるワカメやコンブなどの海草です。海洋植物の光合成によって吸収された二酸化炭素はブルーカーボンと呼ばれています。しかも、海洋植物は森林に比べて単位面積当たり二酸化炭素の吸収量が2倍以上あるそうです。今後このような海洋植物を増やしていく取り組みは重要です。ぜひワカメなどの養殖を進めていただきたいものです。

また、海藻は今新たな注目を得ています。それはペロブスカイト太陽光発電です。太陽光発電というと大きなソーラーパネルを思い浮かべることでしょう。これは従来からあるシリコン型の太陽光発電です。一方、ペロブスカイト太陽光発電は、軽くて柔軟であり、ペンキのように壁に薄く塗ることができます。しかも発電量は、従来からのシリコン型太陽光発電と同等のレベルまで向上しているそうです。このペロブスカイト太陽光発電の原料となるヨウ素は海藻から取れるのです。すなわち、藻を増やしていけば、二酸化炭素を吸収するだけでなく、新たな太陽光発電の材料も生むことが出来るのです。海に囲まれた天草はまさに気候変動を救う聖地と言えます。



独立行政法人地域医療機能推進機構 天草中央総合病院
〒863-0033 熊本県天草市東町101番地
TEL 0969-22-0011 FAX 0969-24-2105
ホームページアドレス <http://amakusa.jcho.go.jp>

命の誕生を支える専門職－助産師の魅力

2階病棟 坂井 瑠花

助産師として2階病棟に勤務して3年目になります。新人のときは、先輩助産師のサポートを受けて、産婦さんの情報収集の仕方や声かけ、ケアの方法を学び、経験を重ねてきました。

助産師は、妊娠から出産、育児に至るまで母子の健康を支える専門職です。なかでも生命の誕生に立ち会うことができるのは大きな魅力の一つです。お産という人生の大きな節目に産婦さんに寄り添い、無事に元気な赤ちゃんを取り上げたときは、安心と喜びの両方の気持ちが湧いてきます。そして、初めてお母さんに赤ちゃんを抱っこしてもらったとき、その時のお母さんの笑顔はとても素敵です。

産後もお母さんと赤ちゃんを母子一体としてして見守り、赤ちゃんのお世話やお母さんへ授乳指導をします。そして退院後の生活指導や不安についてなど、それぞれの状況に合わせてサポートをしていきます。必要があれば、退院後は地域の保健師さんへサポートを引継ぎます。

以前お産に関わらせていただいた方が、次のお産で来られ、「前回はお世話になりました。元気いっぱいこんなに大きくなりました。」と子どもさんの写真を見せてくださいました。

すくすく育っていく姿に触れられるのは、お産の感動に続く喜びであり、自身のやりがいにもつながっています。

これからも、先輩助産師や産婦人科医師と協力し、安心安全にお産ができるように、お母さんと赤ちゃん、そのご家族と支えていきたいと思っています。



天草ほんどハイヤ祭りの道中総踊りに参加しました

総務企画課 渡辺 一世

8月9日(土)に行われた天草の夏の風物詩、天草ほんどハイヤ祭りの道中総踊りに、6年ぶりに参加しました。

当日は、気温が30度近くとても暑い日となりましたが、沿道からの温かい声援を浴びながら、病院の名前が入ったオリジナルの法被、華やかな浴衣を身につけた総勢約70名の職員は、ハイヤ節のリズムに乗って、暑さを吹き飛ばすような一体感のある力強い踊りを披露しました。

参加した職員からは「地域のお祭りに参加できて嬉しい」「来年もまた参加したい」といった声が聞かれ、地域住民との交流を深める貴重な機会となりました。

これからも医療活動だけでなく、このような地域との交流を通じて、天草の皆様の心と体の健康を支えていきたいと思います。



《健康管理センターよりお知らせ》

10月26日(日)に天草市複合施設こくらすで行われる「女性のための健康セミナー」で、当院産婦人科・岩崎聡美医師の講演が行われます。講演予定時間は10:05～10:45となっております。

また、健康管理センター職員の健康相談コーナーもございます。

当日は、健康に関する相談に対して、保健師等が対応させていただきます。健康管理センターに所属している保健師ですので、生活習慣病に関する予防及び対策に関しては、専門的知識を活かしてのお話ができますのでお立ち寄りください。

また、当日、病気予防のための健診に関するご案内もさせていただきます。

ぜひ皆さまのご来場をお待ちしております。



消防訓練を行いました

7月25日(金)に消火用散水栓(ホース)での放水訓練と消火器操作の訓練を行いました。消火用散水栓の放水訓練では、散水時の水圧を体験しました。かなり水の勢いがあり、遠くの目標物まで水が届く様子を体験することが出来ました。消火器の操作訓練では操作方法の確認を行いました。いざという時に慌てることがないように、これからも訓練活動を行っていきたいと考えております。



2025年度第1回 医療安全研修会を開催しました

医療安全管理室 山本 美智子

令和7年7月7日に第1回 医療安全研修会を開催しました。この研修は医療安全の推進を目的とし、職員全員に年2回行っています。研修を企画運用している医療安全推進担当者委員会は「職員の心に何か残せるように」「必要な行動変容につながるように」との思いで創意工夫を行っているところです。

今回のテーマは2つで「カリウム製剤とカテコラミン製剤について」と「医療安全におけるコミュニケーション-TeamSTEPPS^(R)のすすめ-」を行いました。講師は当院の薬剤師と看護師で行い、松本亮二薬剤師からはカリウム投与の大原則、救急カート内にあったカテコラミン製剤の移動など、日本医療機能評価機構からの医療安全情報も交えながら話がありました。看護師からTeamSTEPPS^(R)の基本理念の説明とビデオ視聴学習がありました。

TeamSTEPPS^(R)とは医療の質と患者の安全性を高めることを目的としたチームワークシステムのことです。

職員からは「カリウム濃度は40mEq/Lということを知り、医師からの指示を確認しながら実施できる」「救急対応についてもっと研修を受けたい」「医療安全とコミュニケーションについて、今回TeamSTEPPS^(R)について学習しましたが更に他にも医療安全に関するコミュニケーションの必要性を学べる機会があるといいです」などの感想が寄せられました。

今後も医療安全推進担当者委員会では、職員がより実践に結び付けるような研修企画を考えていこうと思っています。



松本 亮二 薬剤師



医療安全管理室 山本 美智子



一次救命措置(BLS)の訓練を行いました

救急委員会 與田 瑛二

昨年に引き続き、一次救命措置(BLS)の訓練を行いました。これは、救急隊や医師に引き継ぐまでに行う応急処置のことで、いざというときに非常に大切な訓練です。

今年は、コメディカル・事務部門に加えて、各病棟の看護助手、病院附属老健施設のコメディカル・事務・看護助手の方にも参加していただきました。参加人数は延べ168人と過去最高になりました。

訓練の内容は、事前に動画やパンフレットなどで手順を覚えて頂き、実際にAEDやアンビューの使用、胸骨圧迫を行いました。胸骨圧迫は、しっかり押せているか(深さ5cm)、押すだけでなくしっかり戻せているか、テンポは正確にできているか(1分間に100～120回)に注意して行いました。アンビューは、顎を指で支え、空気が漏れないようにすることを意識して行いました。胸骨圧迫30回→アンビュー2回のペースで、それぞれ交代しながら行いました。AEDについては、パッドの貼る位置やショックを行うときの安全確認を意識しました。胸骨圧迫時のかけ声など、職員同士での積極的な協力が見られました。

去年、膝などが悪く胸骨圧迫を行うのが難しい方がいたという問題がありました。そのため、ストレッチャーを1台用意しました。今後も改善を重ねて、よりよい訓練をできるようにしたいと思います。



今年度の新人職員を紹介します

4階病棟 原田 琉依

4階病棟に配属になりました原田琉依です。祖母が元々看護師で、私も医療関係に興味があったので看護師を目指しました。覚えるべき薬剤や機器が多く難しく感じっていますが、これから頑張っていきますのでよろしくお願いします。



4階病棟 畑島 尚弥

天草の消化器外科・泌尿器科病棟で8年間勤務して参りました。今回、内科病棟での勤務となりこれまでとは違う経験を多くさせていただき毎日充実した日々を送らせていただいております。患者様のために少しでもお力添えができるよう努力して参ります。よろしくお願いいたします。



4階病棟 田川 愛莉

私は4階病棟で働いています。まだまだわからないことだらけですが、1日1日がとても勉強になっています。患者様やそのご家族の方に信頼される看護師になれるよう、向上心を持って、これからも笑顔で頑張ります。



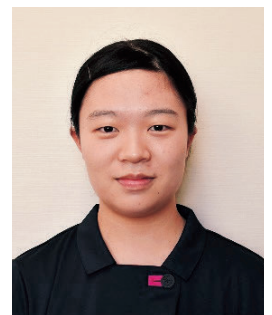
4階病棟 荒木 茉耶

私は4階病棟に配属されました。何もかも初めてで不安ですが、患者様と関わるなかで「ありがとう」の言葉や笑顔で話していただき看護師としてのやりがいも感じています。1つ1つ仕事を覚えて、毎日元気に頑張ります。よろしくお願い致します。



4階病棟 長尾 実咲

4階病棟に所属しています長尾実咲です。先輩方のご指導の下、ケアや処置を実施し、知識と技術の向上に努めております。患者様の生活環境に目を向け、身体的・精神的な健康をサポートし、患者様やご家族に信頼される看護師となれるよう日々努力していきます。



2025年 外来診療担当表(9月)

受付時間: 午前8時30分～午前11時00分(受付時間は診療科で多少異なります)

診療科		月	火	水	木	金
内 科	呼吸器内科	荘 田 恭 朗	荘 田 恭 朗	金 子 篤 志		金 子 篤 志
			中 嶋 誠 也	小 松 太 陽		中 嶋 誠 也
	消化器内科				岩 澤 秀	岩 澤 秀
	腫瘍内科	熊 野 御 堂 慧			熊 野 御 堂 慧	
	血液内科		宮 家 宏 定			大 学
	循環器内科				荒 木 智(大学)	
	代謝内科	浜 田 英 明(大学)				
	緩和ケア			松 本 衣 里		
	二次検査 担当		竹 口 東 一 郎	竹 口 東 一 郎		
	備 考	外来診療は予約制です。				
外 科	診 察	坂 本 慶 太	村 上 聖 一	坂 本 慶 太	(坂田優海)	村 上 聖 一
	乳腺・その他 検査	竹 口 東 一 郎	坂 本 慶 太	村 上 聖 一	稲 尾 瞳 子	坂 田 優 海
	備 考	木曜日の午前は手術です。木曜日は予約の方のみとなります(新患はお受けできません)。				
整形外科		木 山 貴 彦	木 山 貴 彦	畑 直文(第1・3・5)	木 山 貴 彦	大 森 治 希
		大 森 治 希	大 森 治 希	森 修(第2・4)	松 田 隆 寛	松 田 隆 寛
		松 田 隆 寛				
	脊椎外来			塩 川 晃 章		
備 考	手術は毎週水曜日です。					
産婦人科		荒 木 眞 佐 子	荒 木 眞 佐 子	荒 木 眞 佐 子	荒 木 眞 佐 子	荒 木 眞 佐 子
		島 田 清 史 郎	岩 崎 聡 美	島 田 清 史 郎	島 田 清 史 郎	岩 崎 聡 美
		落 合 み ゆ き	島 田 清 史 郎	落 合 み ゆ き	落 合 み ゆ き	落 合 み ゆ き
				片 渚 秀 隆 (第2・4水曜のみ)		
	女性のための ホルモン外来		岩 崎 聡 美			
備 考	※女性のためのホルモン外来(火曜日、14～16時)は完全予約制のため電話予約が必要です。					
放射線科	担 当 医	吉 住 和 弘	森 口 直 哉 大津家裕二(大学) (放射線治療医)	森 口 直 哉	担 当 医 松山知彦(大学) (放射線治療医)	
皮膚科	松 永 仁 美(大学)				島 田 秀 一(大学)	
歯科口腔外科	田 中 拓 也	田 中 拓 也	田 中 拓 也	田 中 拓 也	田 中 拓 也	田 中 拓 也
	小 田 喬 仁	小 田 喬 仁	小 田 喬 仁	小 田 喬 仁	小 田 喬 仁	小 田 喬 仁
	午後は13:00～16:00の受付時間です。毎週火曜日・第1・3・5木曜日は午前中手術の為、午後からの診療です。					

◎学会等により休診となる場合もございますので御了承ください。



独立行政法人地域医療機能推進機構
天草中央総合病院
 〒863-0033 熊本県天草市東町101番地

TEL)0969-22-0011(代 表)
 FAX)0969-24-1808(連携室)
 0969-24-2108(医事課)